

清水地区タウンミーティング(要約)

平成25年11月9日(土曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。昭和42年7月31日生まれ松山大学の隣の清水小学校入学清水小学校卒業の野志でございますので、地元ということになります。今日は休日ですのにおくつろぎの方も多かったと思いますがこのように大勢の方がご参加いただきましてありがとうございます。またこのタウンミーティングの受け入れにご協力をいただきました清水地区まちづくり協議会準備会の会長をはじめ役員の皆様方に心から感謝を申し上げます。さて今日は松山大学さんの教室をお借りさせていただいておりますけど、大学関係者の皆様にも心からお礼を申し上げたいと思います。先日は松山大学の女子駅伝部が全国の3位というすばらしい成績を収められました。嬉しいですね。東京や大阪や京都の大学がやっぱり強い中で地方である松山大学が全国の3位に入ったのはすばらしいことだと思います。さて今日のタウンミーティングですが清水地区で行うのは2回目になります。実は私就任させていただいてからこのタウンミーティング始めさせていただいておりますけども、松山市役所で待っているのではなくて松山市には41地区あるわけですけれども旧の北条市そして旧の中島町合わせて41地区あります。その地区ごとに我々が出向かせていただいてやっぱり各地区でお困りの点とか課題もあると思いますのでそういったものを聞かせていただいてそしてすぐさま市政に反映できるものから反映していきたいという思いでこのタウンミーティングをさせていただいております。ガス抜きとかパフォーマンスでやっているものではありません。そういうものだったら多分1巡で終わってたかと思うんですが、私はできるだけ早く市政に反映していきたい。そして市役所と皆さんの距離をもっと近くして行きたいと思っています。そういった思いから2巡目に入らせていただいております、この清水地区のタウンミーティングも2回目になります。今回は前回の清水のタウンミーティングでどういうご意見をいただいたか、そしてどのように松山市が動かさせていただいたか、そしてどのような見解を持っているのか、そういうのをお示しさせていただこうと思います。また今日皆さんお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが清水地区ならではの大学生の方も多数ご参加いただいているということですので前向きな、また清水をどうやったらいいまちにできるかそういう前向きなお話ができればと思います。90分になりますのでさすがに肩ひじ張って緊張していると90分しんどくなりますから、どうぞごくばらん前向きな議論ができればと思いますので今日はどうぞよろし

くお願い申し上げます。

【男性】 よろしくお願ひします。先ほど市長がおっしゃっていたように、清水小学校からここ松山大学、愛媛大学さんなどいろいろ大学もありますが、まちづくりとその学校とのつながりについてですが、僕はタウンミーティングでいえば堀江地区に当たるんですが、今回この清水地区に来させていただきました。堀江地区には小学校と中学校ぐらいしかなくて、でもここには大学も高校もあります。それで本当は小学校から中学校ぐらいの生徒さん児童さんが高校を出たら就職しようとか、僕はもうお父さんもお母さんも大学出たからとりあえず大学には行こうとか、そういう考えの子もいっぱいいると思うんですが、いっぺん大学に来てその大学生と話をしてみたらその意見も変わってみたい、もっと専門的な勉強をしてみたいとか、やっぱり大学は合わないから就職するほうがいいのかもなとかいろいろ考えは変わると思うんですね。そういうのを何かできないかなと思ってこの場で発言させていただきました。

【市長】 この松山の特徴はほかの市の方からすごくうらやましがられるんですが4年制大学があるのが松山のまず強みですね。ほんとありがたいことだと思うんですけど、ほかの市のことを考えるとどこの市でも4年制大学があるかっていったらないですよ。そして松山には愛媛大学、松山大学そして東雲女子大学、聖カタリナ大学、4年制大学が4つもある。この4年制大学の学生さんの数で多分2万人弱だったと思います。そして教職員の方々もいらっしゃるので、専門的に研究している方々がいらっしゃる。それぞれの大学で強みがある。まちづくりの視点で大事なものは、「よそ者、若者、ばか者」って言うんですね。ばか者はほんとにばかっていう意味じゃなくて今までは考えてなかったような突飛な発想、よそ者、大学には県外また市外から入って来られる方いらっしゃいますけれども、そういう外からの視点、若者動く力もありますからそういう「よそ者、若者、ばか者」がすごくまちづくりには大事なことと言われます。まさに大学生は参加してもらえればなと我々松山市側は思っています。それで具体的にはどういうものがあるかは市民部長からお願いします。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。よろしくお願ひいたします。一番大学生に見て思うのは前向きなフレッシュな新しい視点だと思います。松山市はちょうどまちづくり協議会と申しまして住民主体のまちづくりの実現を目指して、まちづくり協議会を立ち上げるのを支援しております。これは地区の色々な団体とか組織がある、そのネットワークでつないで住民自治組織をつくって、それで住民の皆さんが主体となって行政と協働しながら地域の力をまとめあげていく組織なんですけれども、それで色ん

な課題を皆さんで解決していくと。そういう組織があります。ちょうど清水地区でも7月26日にまちづくり協議会の準備会が立ち上がっています。そういうところに新しい考え方として若者の力を入れていただく。それでそこに参加していただいて皆さんとまちづくりに取り組んでいただくことを期待したいと思います。例えば清水公民館などでは小学校の児童を対象とした本の読み聞かせ大会などで大学生がボランティアで参加していただいたり、それからもちつき大会や成人式典などで勝山中学校生がボランティアとして参加していただいたりしていますので、そういうところでも大学生と小中学生の縦の交流もできるかと考えておりますし、例えばある地区のまちづくり協議会では地区の福祉マップづくりなどで地域住民とかNPOとか地元企業とともに大学生がかかわった事業がありました。大学生も小学校から大学生までの縦のつながりとかそのまちづくり協議会に入って地元の地域の人たちとみんなで協働して参加をしていただいたらいいんじゃないかと思えます。よろしく願いいたします。

【市長】 まちづくり協議会について、学生さん多いんで知らない方もいらっしゃると思うんで。平たくわかりやすく言うとさっき松山市には41地区あるって言いましたよね。各地区の課題や魅力について一番わかっているのは市役所じゃなくて、それぞれの地区に住んでいる人が一番魅力とか課題についてわかっていますよね。市役所が主体になって41地区のまちづくりやっていったらどこも同じ金太郎飴のような地区ができてしまうばかり。そうじゃなくて各地元の方々が自分たちの地区の魅力や課題を反映させながらまちづくりしていったらそれぞれのまちはもっといいまちになりますよね。その41の集合体である松山市はもっと輝くって言うことが言えます。ですので、まちづくり協議会があるんですけども、いい組織、なんでわざと悪い組織って言ったかという、「わしがもうこの地区のまちづくりはするんじゃない、わしが金使うんじゃない」みたいな組織ができたらいけないですよ。地区のためにやらないといけないのでいい組織ができたんであれば財源と権限を渡しましょう、お金とその権利をお渡ししましょうっていうのがまちづくり協議会なんです。清水地区さんは今まちづくり協議会の準備会は7月の下旬にできたところなので、今そういう組織ができていいまちづくりしていきこっていう機運が高まっているところなので、とにかく大学生の方にはさまざま参加してもらったと思います。もし個々知りたいケースがあったら市役所に電話していただいたら、こういうケースもありますからねってお伝えすることができます。私からも一つだけつけ加えさせてもらおうと、若い方にはぜひとも選挙には行っていただきたいんです。誰に投票してくださいという話じゃなくて、

やっぱり若い方々が未来のふるさと、日本、愛媛、松山をつくっていくんです。皆さんの世代に徐々に移っていくんです。我々はいい松山を残すためにはどうしたらいいか、後手踏まないためにはどうしたらいいか、今何をすべきかを考えながら今仕事をさせていただいているんですけども、若い人の意見が全然反映されないような世の中は、怖いですよ。あなたたちがいざ中心になったときにあれってことになりかねないですよ。だから若い人が選挙に行かないって言われていますけれども、やっぱり意思の反映はちゃんとやっとなないと、これは大変なことになると思います。ちなみに費用でいうと、来年の4月に松山市議会議員選挙が予定されておりますけれども、松山市議会の選挙ですから松山市を国が助けてくれるわけではない。県が助けてくれるわけではない。松山市の単独の費用でやらないといけないんですけれども、松山市議会議員選挙は1億円強のお金がかかります。そして私、松山市長選挙で皆さんのご支持いただいて今の立場いただいておりますけれども、松山市長選挙も1億円強のお金がかかっていますので、それだけのお金使っているわけですからしっかりと学生さんには若者の方にも選挙には行っていただきたいと思っております。以上です。

【女性】 先ほどの意見と似てるんですけど学校が多っていうことで、学校の世代間を超えた世代間で交流しあえる機会とか仕組みをもっと増やしていただければいいかなと思いました。

【市民部長】 市民部の吉野です。どうぞよろしくお願ひいたします。世代間を超えるということになりますと先ほどと一部だぶりますが、近ごろは生活スタイルの変化とか人それぞれの考え方がいろいろ多様化しまして、地域のコミュニティ活動への関心が薄くなって、それから町内会とか自治会への加入率も減少傾向にあります。ただ高齢者の見守りとか青少年の健全育成、それとかごみ出しのマナーとか地域の連帯がなければ解決できない課題、問題がいろいろ多いんじゃないかと思ひます。先ほど申し上げましたまちづくり協議会とかそういう地域活動に参加する中で、地域の色々な団体と交流する機会をつくってその地域の課題を共有して住みやすいまちになるのはどうしたらいいかを自分たちで、若者のフレッシュな感性でつくりあげていただければいいんじゃないかと思ひます。そういうことで繰り返しになりますが、まずは身近な地域活動、例えばまちづくり協議会ということになるんですけれども、そういうところまでできる範囲で参加していただきたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【市長】 4年制大学の数にして四つ、短期大学の数にして三つですかね。専門学校の数にしておよそ20あるのが松山の強みですから、多いに参加していただきたいと思ひます。ちなみに愛媛大学さん、松山大学さん、聖

カタリナ大学さん松山東雲女子大学さんの4つの大学で構成しているボランティアネットワークの「4-Rings (フォーリングス)」もありますので、そういったまた組織をつくっていただいて、動いていただけるのもみんな若い方フェイスブックとかツイッターとかいろいろコミュニケーションツール持ってるでしょ。それでまたつながっていただいて動いていただいたらと思っています。

【男性】 清水地区の町内連合会の会長しております。実はまちづくりのことがありましたけれども、現在清水でまちづくりをやろうと準備会ができとります。今ここの立地条件にしたら今市長さん言われましたように中学校、高校、大学とそれで看護学校まであるんですね。それはほかの地区にないので、ここに特色のある清水地区にしようということで、実は愛大へ行きまして担当の先生に市の職員と一緒に実はこういうことなので、清水を活力のあるようにするには若い者の力がいるので、愛大の学生さんに何か私らが声かけたら来てくれましょかという話をしたんですが、そしたらできることならやってみますと。できない言うたらできないと、できることがこれはできますからうちの学生を使うてくださいということで確約しまして、そんなら次は松大来たんですよ。ここへ。そしたら松大の先生も担当の人もそれはいいことだと。それは一緒にやってあげますということで確約でたので、できたからには清水で立ち上げて皆さんに協力してもらおうということでしたよ。実は子どもの見守りが愛大の学生が腕章つけて時間があったら校区に立っていて、子どもたちを見守ってくれたり、愛大の人ですかね、清水児童公園で日曜日に巡回したとき遊びよんですね。なんで学生さんがおる、子どももおる、何のことやろか思たら、実は私たちはボランティアと一緒に遊びましょと1時間子どもたちと遊んどりますという話を聞いたんですよ。ほしたら私たちも地元において私は70過ぎとりますけれどもうれしくて、これからは皆さんの力をもらってそしてすばらしい清水校区にしたいと思っております。これからはよろしくお願いします。

【市長】 今、結構共働きの方って多いですよ。子どもがやっぱり一人で家で待ってるのはちょっと不安だなとかかわいそうだなみたいなところがあって、せつかくこの清水地区にはお兄さんお姉さんの存在である大学生とか専門学校の方々いらっしゃるので、そういう方々が子どもたちみましょかとか勉強みましょかとか遊びみましょかとか、つながりがある時代のほうが防犯の面でもいいんですよ。昔は井戸端会議で最近なんか空き巣が多いみたいなよ、気をつけないかねえって地区の防犯力が上がっていく。やっぱりつながりがあったほうがいいので、そこに清水地

区の特徴である若い方が参加してもらおうと、ものすごくいい清水地区ができると思いますね。皆さんほんとお兄さん的なお姉さん的な子どもたちにとっては存在になりますから皆さんの持つてるよさを、看護専門学校の方々だったら例えば私もこの間、防災士の資格取ったんですけれども人工呼吸とかなかなか皆さんが持ってない知識をお伝えすることもできますよね。心臓マッサージの方法もお伝えすることもできますよね。やっぱりそれぞれの特徴を活かしたもの、自分の持ち味をまた清水地区に還元してもらおうとより清水地区がいい地区になるんじゃないかなと思います。私も県外の大学に行ってたんですけれども、学生をつながりだけじゃなくて、地元の方と仲よくなると愛媛に帰ってもあのおいちゃんおぼちゃん元気にしとるかなとかより深く思い出すんですよ。だから学生だけのつながりじゃなくて地区の方とのつながりをつくとまたいいんじゃないかな、自分の学生時代も思い出深いものになるんじゃないかなと思っています。

【男性】 まちづくり協議会にかかわっております。今、会長さんからお話があったんですけれども愛媛大学、松山大学の方にも協力はいただいておりますが、この清水地区のまちづくり協議会、清水地区のまちをどんなまちにしたらいいかということで今私たち頭をしぼっておりますけれども、なんせ古い頭でなかなかいいアイデアが出てきませんので、ぜひ若い人の新しい前向きなご意見、考え方をいただきまして、どういう形にしていくかの参考になるご意見をぜひ出していただきたく募集しておりますので今、仮の事務局公民館にしておりますが、お寄せいただいたら参考にしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【市長】 今、地区の方々から若い人どんどん来てくださいますウェルカムですよって言っていただいたんで大分敷居が低くなったんじゃないかなと思います。清水公民館に行ったらまちづくり協議会の方との接点が生まれると思いますのでまた協力していただいたらと思います。

【男性】 私の質問自体は2番目のテーマですけれども、そのまち協に関して校区弾力化の恩恵を受けて五明にご縁をいただいておりますけれども、その関係で五明のまち協さんとは割と交流があったので、まち協の存在自体は認識はしていたんですけれども、清水地区で立ち上がった情報が全く入っていなかったもので、今日初めてここで知って、じゃあ入れてくれよって今思ってるんですけれども、とにかく周知をしていきたいその思いは非常に伝わってくるんですけれども、全くその情報が流れてこないののでちょっと寂しいなと思っています。

【市民部長】 市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いいたします。今ホームページが出てるかと思うんですけど、ホームページには当然まちづ

くり協議会の情報とかタウンミーティングの情報もリアルタイムといたしますかすぐに流しております。それに広報にもタウンミーティングをやれば流しますし、まちづくり協議会の関係の情報も流してると思うんですけども、そういうところで見ただけでない、それでもまだ周知の仕方が足りないということであれば、またもう少し何らかの方法を考えないといけないと思いますので、職員あわせて頭寄せ合って考えてみたいと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

【市長】 確かにおっしゃるとおり今まで市役所のやってることさまざまですけど案外知られてないんです。広報の手段としてさまざまありまして、例えば回覧板も広報の手段ですね。そして支所の壁も広報手段だと思えますし、今松山市役所の外の壁には5本の懸垂幕かけてるんですけど、市役所の壁も広報手段だと思っています。今ご意見いただきましたので例えば清水地区にまちづくり協議会ができたなら清水地区の多くの方が知れるような広報手段とかまた考えさせていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

【男性】 広報が遅くなって申しわけないんですけど、先ほど申しましたように7月の末に準備会が発足いたしまして、そのあと3回ほど一部役員会をもちまして準備会についていろいろ進めておりますが、その中で第1号の広報が11月初めにできて昨日の町内会連合会で各町内会長さんに配布いたしまして、各町内でそれを回覧していただく形で第1号の広報をしておりますので、また今後準備会の内容いろいろ出てまいりましたらその都度広報紙を通じて住民の皆様にも周知していきたいと考えておりますので、今回遅れており誠に申しわけございませんがよろしくお願いいたします。

【市民部長】 先月からまちづくり協議会のフェイスブック始めており、ホームページから入ることができますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 今ご意見いただいて我々市役所もまちづくり協議会ができたときにはこういうふうにされたらいいですよっていうサポートが十分だったのかをまた考えたいと思います。ありがとうございました。

【男性】 こんにちは。清水町内からお邪魔しております。初めましてお願いします。交通安全についてのことなんですが、松山市は全国的にみても中心市街地に坂がほとんどなく自転車で移動、生活するのに非常に便利なまちって言われていますし、実際私も自転車で移動するんで非常にすごく実感してるんですけども、交通安全のことで意見を言わせていただきたいんですけど、世の中には権利を主張するのならまず義務を果たせっていう言葉がありますけど、割と交通ルールを守らない自転車が非常に多く

て、さっきの前の質問の9番とか7番とか10番に関連した内容なんですけど、私自主的なボランティアで無灯火の夜の自転車が非常に気になって危険性が高いんで、ライトつけましょうとか夜ちょっと移動するときとかかねて、すれ違った自転車にお声かけさせていただいてるんですけども、この会場の中でももしかして無灯火で走られとって僕にお声かけされた方がいらっしゃるかもわからないんですが、とにかく自転車を利用する上でのマナーが二人乗りもありますし傘差し運転もありますし、メールとかスマートフォン見ながら運転してる人もいますし、二人乗りとかメールとかそういうのは一方がまだ見えるんでいいんですけど、交差点とか見通しの悪いところは別なんですけれども、夜の無灯火は暗闇から急に出てくると昨日もぶつかりそうになったんですけども、歩道で向こうから来る無灯火の20歳ぐらいの女の子と。ですから、もっと責任感のある運転してほしいんですけど、市とか警察でもっと厳しく取り締まっていただく、罰則を科していただく方法はないものでしょうか。私がライトつけましょうって言ったのにうるせえとか反発してくる、さすがに女性の方はほとんどいませんが男でそういう人がいるんです。20代の方でも50代60代の方でもそんな人がいますが、そういうときは110番通報して警察呼んで中入ってもらって指導してもらうんですけども夜間の無灯火は5万円以下の罰金とか罰則がちゃんと決まっておるわけですからきちっとしてもらって、例えば最低でも無灯火の自転車に優先的に職務質問、警察の方ここにいらっしゃらないかもわかりませんがしていただくとか。何かそういう取組みをしていただいたら普通に真面目にライトつけてちゃんと左側通行してる人は走りやすいと思うんですけど、いかがなものでしょうか。

【都市政策課長】 ご意見どうもありがとうございます。おっしゃるとおり特に最近自転車での大きな事故がニュースでも出ております。松山市では前回の回答もありますように自転車の利用について特に法令順守、ルール、マナーをよく知ってもらおうということで小学校や中学校あるいは幼稚園などで自転車のマナーを知ってもらう、実際に体験してもらう教室を開いて取り組んでおります。また、交通安全指導員の方や清水地区は東署が管轄ですけれども警察とも協力して進めておりますし、今後ともいろいろなご意見いただいて東署にもお話をさせていただいて十分な取り組みを進めていきたいと思っております。子どもだけじゃなくてやはり子どもの見本となる大人の方々がルール、マナーを守っていただくことが大事だと思います。

【男性】 今の質問と関連したことで提案ですけども、姫山小学校と清水

小学校の通学路、大川沿いにほとんどの小学生がそこを通行しております。大川沿いは自転車の通行も非常に多くて非常に危険な箇所が多いです。そこでこの前から提案しているんですが、自転車と歩行者を分けるように色分けしていただきたいと思っております。そこは小学生の通学路の部分だけでよろしいんですけども、そういった対応がとれましたらぜひお願いしたい。ルールを守れいってもなかなか守りきれないものですから、そういった明確に区分けして通行してもらおう提案をしたいと思っております。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。皆様、大川のところはよく御存じだと思いますけれども、大川の南側と北側に道があり北側の護国神社から松大のところはつながってないところがあります。大川は二級河川で愛媛県の所管、管理になります。先ほどの通学路のラインについては持ち帰らせていただいて、どういったことが具体的にできるかを検討させていただきたいと思っております。

【市長】 姫山小学校の近くというお話がありましたけれども、大川沿いのところはできるところは土地を広げるべく今動いているところです。皆さん今花園町通りの整備のことについて聞かれているかと思っておりますが、もう思いは一緒でして、実は花園町通りとこの近くにある平和通り広いですよ。なぜ広いかというと戦災復興でできた通りなんです。花園町通り、平和通り、そして大手町通りですね。戦災復興でできた道路なのであれだけ広い道路ができています。花園町通り、市駅の伊予鉄高島屋の前ですよ。あそこの通りは今、交通量調査をするともう一車線でも大丈夫だという交通量になってきています。もちろん電車も通るところなので右折車線とかいう配慮はいるんですけども、あそこは電車が複線で走ってて二車線ずつの車道、いちよう並木で知られる緑地帯、副道、アーケード商店街という広い通りでしたので、車の通行量が減っているんだったらもっと歩道を広くして、自転車の方と歩く方が交錯しないまちづくりをしようというので、来年からNTTさんの電柱の地中化もありますので、何遍も地下を掘り起こすのは無駄ですので、できるだけ一度きりということ今、花園町通りを歩く人にもやさしい、自転車の人もやさしいまちづくりをするべく今動いているところです。高齢化社会を迎えます。高齢化社会を迎えるとどうしても脳梗塞になったりして半身が不随になる方もいらっしゃいます。そういう方がじっと家で閉じこもっておくよりも、やっぱり歩いていただいたほうが治りも早いと言われております。そして健康な方が歩いていただくほうが、病気になるリスクも低くなると言われております。ですので歩くというのはすごく大事なことだと思っておりますので、また地域のつながりをつくる上でも自転車で自動車で走るよりかは歩いて、自動車も

便利でいいですけども、歩いていただいて語らっていただけるというのも歩くことの大事さだと思いますので、今そういうまちづくりを松山市としては目指しておりますので、ご意見も参考にしながら進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

【男性】 自主防災の関連ですけれども独居老人で災害が起きたときにどこの家庭を気をつけないかんという名簿をつくらうとしておるんですけども、個人情報に関連でつくれないのです。前から気になっておるんですけど、先般テレビで見ますと石井地区でモデル地区にして市が回覧する話を聞いたんで清水でもできんのかなと、これからどういう取り組みをどういう方向で市は考えておられるんかお聞きしたいんですが。

【市長】 はい、わかりました。今日、福祉の担当課長が今日勉強のためにきておりますので、福祉の課長がご説明を申し上げます。今日大学生の方、専門学校の方も来られてて、現状がそういうことがあるのかということからお話してもらったと思うんですけども、まず要援護者がいるんだけれども個人情報の観点からなかなか出せないというところぐらいから。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の高橋です。よろしくお願ひします。今、災害時要援護者の話が出ましたが、松山市でも東日本大震災ですごい被害が出たことを踏まえまして、災害時要援護者対策の見直しをしております。この災害時要援護者については個人情報の関係があるので、松山市の個人情報保護審議会に例えばまちづくり協議会とか町内会に色々な情報を提供してもいいか審議をさせていただきました。その結果、付帯条件をクリアすれば情報提供してもよろしいですということで、石井地区でモデル的に取り組んでおります。石井地区の取り組みの結果を踏まえまして、ほかの地区でも広げていきたいと考えています。

【市長】 私から補足をさせていただくと、今石井地区っていう松山市で一番大きい5万8千人が住んでいる石井地区をモデル地区にさせていただいて、その取り組みを進めているんですが、例えば一般的に聞いていただきたいんですけども、テレビで偶々取材で映っていたんですが、目の不自由な方がいらっしゃって、どこのご家庭にそういう目の不自由な方がいらっしゃるとか高齢の方がいらっしゃるとか寝たきりの方がいらっしゃる、個人情報なんで私はそういうことは変に漏れたら嫌なのもう言わんとしてくださいっていう方もいらっしゃるんですよ。そういう思いは大事にしないといけない。でも方や大きな災害が起こってしまったときには、助けてあげたいと思っけていてもどこにどういう方が住んでるかっていう情報が把握できてなかったら、なかなか助けにも行けないですよ。そう

いう難しい面があったので石井地区をモデル地区として、ちゃんと個人情報
の審議会にかけて法律の専門家の方もいらっしゃるそういう中で条件
付きですけれども、そういう個人情報を公開しても構わないことになった
ので、石井地区をモデル地区にしてやっております。これで石井地区の取
り組みがうまくいければモデル地区ですから松山市のもっと多くの地区
にも広げていけると思っておりますので、やっぱり自助・共助・公助って
いうんですけれども災害が起こったときには、自ら助ける自分の力で助けよ
うとするのと、公助、公の力で助けるいうたら消防職員、消防団であつた
り、そして共助共に助ける近所の人で共に助ける、この共に助けるのをよ
り有効にしようっていうのが今回の取り組みですので、個人情報保護のこ
とがあつてすぐにはいかないんですけども石井地区をモデル地区にさ
せてもらつていい動きができないかなとやっているところです。

【男性】 先日台湾との直行便、松山から直行便ができたというか、第一
段階でまず知事の方、市長の方もいろいろ行かれたと思うんですけど、そ
れで今後松山・台湾の直行便を定期便にしていけるように松山と台湾との
交流を今後おそらくやっていくような計画が立てられているんじゃない
かなとは思んですけど、その件に関して大学生で何か助力ができること
がないかなっていうのと、もしあるのであればどういうことができるのか
とか、もちろん海外との交流にはなるんですけど台湾からこちらにきていた
だければ、その地域の活性とかまちづくりの一環にももちろんなると
思うんで、このテーマに関してちょっと発言させていただいたんですけど、
大学生がかかわれることが何かあれば知りたいなと思ひまして質問させ
ていただきました。

【市長】 はい、わかりました。私がしゃべってばかりだと変化がつか
ないので大学の授業みたいに書いたりしましょうか。実は皆さんも台湾と
の交流についてお聞きになつたと思いますが、どこと交流してるかとい
うと台湾の首都が台北市というところがありまして松山の5倍の大きさで
す。260万人の都市が台湾の首都の台北市です。ここに松山区がありま
して松山空港がありますし、松山駅もありますし、松山小学校もあります
し、そしてこれは不思議なんですけども松山には日本最古の道後温泉があ
りますが、向こうには台湾最古の北投温泉があるんですよ。台湾の方々
はものすごく親日的です。日本大好きでいてくださってます。親日的で味
覚も合いますね、温泉好きな方もいらっしゃいますね。この松山・松山、
前市長である中村時広現知事がこの交流ができたらいいなと15年前から
思つて、そしてさまざま動いてきて私は特に行政だけでやっても、もつ
と広げるには民間の人の交流が大事だろうということで、温泉同士の締結、

道後温泉と北投温泉のいわゆる姉妹温泉のようなつながり、そしてみこしの交流、台湾の方々がおみこし見たいと言われたもんですから、日本の松山の秋祭りみこしぶつけますね。全国でも珍しいあのみこしをぶつけるお祭りですけども、あれを見たいというので松山から初めて国外に出してみこしの鉢合わせ、かきくらべを見せた。二日間で10万人の方が見られました。その翌年は基金をつくってくださって、そして大人みこしは何遍も持っていけないので子どもみこしを2体つくって台湾にプレゼントをした。これ松山の方々民間の方々基金つくってくださったんですよ。子どもみこしが2体行ってるんですが、台湾の秋祭りに行ったら台湾の子どもたちがわっしょいわっしょいいうて嬉しそうに子どもみこしかいているんですね。それを見た台湾のお年寄りの方々には日本の祭りじゃあすごい喜ばれてる。そういったことから今年の10月に台湾の松山空港と愛媛の松山空港の間に飛行機が飛んだんです。難しかったのは台湾の台北、台湾があったら北です。この街中ど真ん中に向こうの松山空港あるんです。日本と同じです。便利なところにあるのが羽田空港で、ちょっと遠いところにあるのが成田空港。そこが国際空港になるんですけども、ちょっと離れた1時間ぐらい行ったところ桃園空港っていう広い飛行場があって1時間ぐらいかかるところにあります。松山～松山で飛行機飛ばさせてくださって、台湾のいうたらお役人はどこでも頭は固いですね。お願いするんですが、もう桃園でいいじゃないですかと。桃園だったらキャパシティが大きいんで桃園だったら比較的飛ばしやすいかもしれませんよ。でも我々はやっぱり松山～松山で飛ばしていただいたほうが、話題が大きいので松山～松山で飛ばしてくださいってお願いして何とか飛んだ。これにはもう一つ狙いがありまして、今から日本は人口減少社会に入っていきます。松山は第一次産業、第二次産業、第三次産業でいうと第三次産業が一番多いんです。74パーセントも第三次産業の方がいらっしゃいます。サービスとか商業とか観光業ですね。観光でお客様増やそうと思ったら日本人の方だけ考えとったんではこれから人口減少社会ですから外国の方にきていただくのを考えないといけない。台湾の方もものすごく親日です。東京や大阪や京都には行ったことあるんやけど、次の場所探してるって方多いですね。そういったこともあって松山～松山の飛行機を飛ばすべく動いてきたわけです。これからできるだけ多くの方が行き来できるようにさまざま考えていきたいんですが、ここでようやくご質問にお答えできるんですが、まず大学同士の交流ができればこれもまたいいんじゃないかなと思います。そういうのもまた考えていきたいと思いますし、組織の話になると時間がかかってしまうと思いますので、皆さんにお願いしたいのはおもてなしで

す。松山市役所の先ほど申し上げた市役所の外側の懸垂幕には「おもてなし日本一のまち宣言」を出してますけども、これにも意味がありまして松山は今年の9月に滝川クリステルさんが東京オリンピックのレセプションで「お・も・て・な・し」って言いましたけど、うちはその前の3月に言っというてよかったなあと思ったんですが、実はおもてなしは松山の人には絶対できるんですよ。なぜかっていうと四国は八十八カ所のお遍路さんの文化があるところですよ。四国八十八カ所が四国4県に点在してますけども一番札所が多く集まっているのは松山なんですよ。北条と合併したけん中島と合併したけんようけになったんじゃないんかじゃなくて全部旧の松山市域に8カ寺あるんですね。今バスや車で回ってるお遍路さん多いですけども、昔は皆さん全部自分の足で命がけで歩いてきた。そういう方々を来年四国遍路が開かれて1,200年になるんですけども1,200年の昔から命がけのお遍路さんにやさしくおせたいをしてきた。おせたいって何も見返りは求めてないんですよ。無償の愛ですね。それをやってきたのが松山の方々なんです。ですから歴史的にそういうおせたい、おもてなしができるのは松山の人だと思っていますし、それを継続していかなきゃいけない。そういう宝は磨いていかなきゃいけないと思っているんですが、そこで「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただきました。ビジネスの話でいうとビジネスチャンスなんです。観光の方が来られてたら旅の大きなポイントは人との出会いです。建物は全国色んなところにあるんですから。それプラスアルファするのは人との出会いです。旅で大きなのは人との出会い、人の印象、そこで松山の印象がよかったならば、松山印象よかったなあ今度友達と行ってみようか、今度家族で行ってみようか、それとか今度松山2泊してみようか、3泊してみようか、2倍3倍の経済効果があるわけです。皆さんは松山の地域経済が悪なったらええと思ってる人はたぶんここには誰もいないと思います。松山地域経済よくするためにもおもてなしはすごく大事なことなので、今年の3月に「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただいたんですが、誰でもできることです。迷ってる人がおったらどこかお探しですか。写真を撮りたそうな人がおったら私がお写ししましょうか。そうやって声かけていただけだけでもおもてなしです。坊っちゃん列車見かけたら手を振るのもこれもおもてなしだと思います。みんなができることですので、おもてなしに努めていただければなと思います。

【男性】 清水地区の社会福祉協議会です。この清水地区もですが活性化いろいろ聞いたんですけど大街道から湊町にかけて昔はボンネットバスが通りよったですよ。御存じだと思いますが、そして今は松山市から委

託された方が自転車がこちらにのけなさい、あちらにのけなさいということで立っとなりますよね。あれはやはり商店街の活性化というたら自転車を置いても店に入ってくれんということなので店の人は悩んでおるわけなんですよね、商店街の人は。ほやから自転車を1カ所に置いて歩いて行けいうたらなかなか行かんのですよね。ちょうど店の前の上を支えとる大きな電話のボックスの横にずっととめられとるんですよ。そこにとめてでも松山市をそういうふうにしていったら店も潤うんじゃないかと。よそからきた人も自転車を買ってとめるところがない状態なので昔はバスまで通りよったんですから自転車とめて、そういう自転車を整理する人がおったほうがいけんというんじゃないにいいんじゃないかと私は思うんですがどうでしょうか。

【都市政策課長】 都市政策課の松本と申します。現在大街道の商店街の中につきましては、自転車を置かないようにということで指導をさせていただいております。松山市は銀天街・大街道も含めて平坦なところですから非常に自転車の利用者は多いです。例えばお店の前にずっと、あるいは二番町・三番町にずっと自転車が置かれた場合、歩く人あるいは買い物の方にとってどうかというのも一つございます。おっしゃられるように商店街の人にとってすぐ前に置いて便利だというご意見も確かにありますが、そのために自転車を今規制している中で松山市としても大街道に面したところに駐輪場を設けております。また最近大きな駐輪場としましては三越さんの南西のところに「お城下パーキング」ができました。こちらには自転車が124台、原付・バイクが75台置けるようになっております。自転車については12時間で100円と割安な料金でさせていただいております。松山市としましては景観も含めて現在の自転車の規制はさせていただけたらと考えております。

【男性】 市長のお話にもあった選挙の話なんですけども最近若者の選挙離れが問題になっていると思います。選挙に対して関心がない、選挙の仕方がわからないなどという人が少なくないと思います。恥ずかしながら僕もその一人でその対策として選挙権のある大学生はもちろん、これから先選挙に参加することになる高校生・中学生・小学生に向けて毎年選挙前に1回選挙の説明会的なものを開いてくださればなあと思っております。以上です。

【市民部長】 市民部の吉野です。どうぞよろしくお願ひいたします。選挙につきましては私も選挙管理委員会に昔、籍を置いたことがあるんですけども、選挙のときのPRしか若者の目には触れないかもわかりませんですね。それで今以上に選挙の啓発ですけれども、特に高校生・中学生ま

でも含めた若者にどうしていくかは選挙管理委員会にも伝えまして、もっと前向きに定期的にするとか検討できないかということ相談しますが、選挙管理委員会でもフェイスブックを始めております。それでまちづくり協議会と同じところから入れますのでホームページの一番最初の右の真ん中あたり、「公式SNS」を開くと4つほどフェイスブックが出てきます。ここに選挙管理委員会もありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【市長】 そうですね、確かに選挙の前に選挙ってどんなものですかという説明はあまりしてないですね。いいご意見をいただいたと思ひます。先ほどのホームページの出来ますかね。こんなことをやっているんですね。松山大学で行われる行政学の授業時間中に平成25年7月21日執行予定の参院議員選挙の投票呼びかけを行います。合わせて松山大学内で今回新たに開設する期日前投票所の利用及び松山市選挙管理委員会フェイスブックの周知活動を行います。松山大学の教室でっていう形ですね。おかげ様で松山大学に投票所を設けさせていただいて結構好評だったので続けていきたいと思ひています。ただ中には全部の大学でやってくださいみたいな声もあるんですけどもそうすると人の面と大学さんにご協力いただかないといけないのと、その箱とか持っていけないといけないので、できる限りやりたいと思ひているんですけど、その辺の調整もしながらやっていきたいと思ひております。いいご意見をいただきました。ありがとうございました。

【男性】 今、道路水はけがすごく悪いですが、道路にははけ口があるんですけど、はけ口どうし全部つないでもらったら水はけがよくなると思ひますけど、ちょっと集中豪雨が増えておりますんで、ごみの網のところ葉っぱとかナイロン袋があったら詰まってしまって水が流れないんですよ。あふれてしても道路幅しか水が流れないんで10センチぐらいですかね、それで流れよんですがあれをつないでもらって網をつないでもらったら水はけがよくなるからいいと思ひますけど。

【都市政策課長】 都市政策課の松本と申します。後ほど具体的な場所を教へていただひて。

【男性】 市内全域です。

【都市政策課長】 市内全域。清水だけではなくて市内広い範囲でということですね。都市整備で道路の建設あるいは維持管理をしております。下水道部もありますけれどもできるだけ排水がよくなるように努めておりますが、最近のゲリラ豪雨とかああいう場合にはなかなかはけない場合もござひます。具体的にこういうところがということがまたありましたら、

市の道路管理課までご連絡いただけたらと思いますのでよろしくお願ひします。

【市長】 道路で危険な場所ですとか気になる箇所とかございましたら地図も持ってきておりますので、担当の松本課長まで言っていたら、道路の件ですとか気になる点、地図に指し示していただけたらと思います。また水はけのことで思い出したんですが、ちょっと強い雨が降りますと愛媛大学と日赤病院の間が水が溜まりやすくなってるんですけども、構造的な問題がありましてなかなか難しかったんですけども、今度東中学校また東雲小学校の改築の話が出ておりますけれども、東雲小学校の改築に伴いまして下に雨水を溜める施設をつくりまして愛媛大学と日赤の間に水が溜まるのを防ぐ形で工事を検討しています。

【女性】 先ほどのフェイスブックの話に関係してるんですけど今月の日本経済新聞の四国経済面にうろ覚えで申しわけないんですけど、地区か市もフェイスブックを始めたという記事が載ってました。それでもっと先ほども言った「だんだん松山」とかのフェイスブックを大学生とかに広めるためにはホームページとか大学の一つの授業とかだけじゃなくてゼミ単位でポスターとかパンフレットを配ったりするともっと認知度が高まると思うんですけどその辺はどうなのかなと思って質問しました。

【都市ブランド戦略課長】 都市ブランド戦略課長の矢野でございます。今おっしゃっていただきましたように私ども「だんだん松山」のフェイスブックを所管しております、例えば夏場には俳句甲子園が大街道で開催されますよとか、それから今度11月23日、24日には愛媛県内で最大の産業まつりが開催されますけれども、そういったことをお知らせするのにこのフェイスブックにいろいろなイベントなどのお知らせをしています。ですので、そういったものを興味を持って見ていただくのは非常にありがたいと思っております。先ほどご提案をいただきましたポスターとかチラシといったものでもっと興味を持っていただくような工夫をしてはどうかというご提案でございますけれども、いいご提案だと思います。ただチラシにしてもパンフレットにしても経費がかかってまいりますので、そういった面も含めて一番効果的な方法で大学の皆さんにもお知らせができるような方法を改めて考えてみたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

【男性】 護国神社の前を流れる大川の両岸についてお願ひをしたらと思ひます。右岸につきましては現在松大のグラウンドから下流は姫原、潮見とずっと通学路といひますか遊歩道といひますか整備されて、随分の方が自転車を通ったり、また朝晩の散歩で通つとるわけですが、私のお願ひし

たいのは松大グラウンドから護国神社の間の右岸道路に遊歩道をつけていただけたらと思います。これは先ほども通学路の話で出ましたけれども、県の管轄で市は即答は無理かと思いますが、長い目で見ましたら護国神社からそれまでずっとつながれば随分安心して通れますし、ここはご承知のように左岸道路は道幅が狭くて車が多いんです。というのが山越から本町フジから上へ行くと信号があったり遠回りがあったりするのので時間がかかるもので、この道路を利用する人が随分多いんです。それとこの地区は学生さんが多いですから自転車も多いです。そんなことで川沿いを歩くにしても危険と隣り合わせという感じを受けます。よってこの右岸道路は県の二級河川ということで私素人なりに考えて、昔はかなりの堤防があったんじゃないかと思います。ところが現在どこまでが堤防でどこまでが屋敷かわからない現状です。現在なら昔のことも知ってる方も多数おられると思いますし、先ほども言いましたように県との関係もあって早急というわけにも行きますまいけれども、時間をかけてでも今なら県と松山市は非常に仲がいい、今までに無い関係がいいんじゃないかなと私は感じておりますので、ひとつ市長さんのお力でぜひ遊歩道をつくっていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【都市政策課長】 都市政策課の松本と申します。ご指摘のとおり大川の左岸南側は車がよく通ります。右岸北側の通りについては整備ができていないということでございますので、生活道路の拡幅や歩道の整備については道路建設課が所管しております。拡幅するためにはどうしても民地の方のご協力がないとできません。そういったことも含め地元の方の合意形成を図っていただいて、実際に整備ができるかどうかについては県とも協議をさせていただいて持ち帰らせていただけたらと思います。

【女性】 清水小学校と新しくできたほっともとの間にある歩道橋があるんですけど、その下のところに渡る横断歩道はないんですけど結構自転車とかで渡ってる人が多いのでとても交通量も多くて危険だと思います。でもあそこが通れたらとても便利になると思うのでよかったら横断歩道をつくっていただけたらと思います。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。陸橋の件ですけれども例えば高齢者の方はなかなか陸橋渡りにくいですね。横断歩道をつけると当然車との交差、危険ということもあります。松山市内では最近歩道橋陸橋はあまりつくってはないんです。横断歩道をつくるとなると警察との協議がありますのでこの場ですぐに回答というわけにはいきませんので持ち帰らせていただきたいんですが、例えば古川の椿小学校のところにも陸橋がありますし、この近くだと味酒小学校のところ陸橋があります。陸橋だっ

たら生徒さんは事故は起こらない安全が確保できるというところもあります。そういったところも含めて検討させていただきたいと思います。

【市長】 道路って難しい面がありまして、色んな利用者の声があるんですよ。行政はその方々の意見に耳を傾けながらじゃあどうするのかを考えなきゃいけないところがあつて。例えば清水地区では比較的少ないと思いますが田んぼ畑が多いところに行くと、道があつて水路があつてってところがありますけども、大体そういうところは車が行き交うには難しいかなつていうところ。水路を蓋してくれたら子どもたちも通学に行きやすくなるんだけど水路に蓋をしてくださいよつていう声は結構あるんですね。水路は大抵農業をされる方が使つてることが多くて、農業される方からすると蓋をされるといざ物が水路に詰まった場合に掃除がしにくくなるんでできたら蓋はあんまりしてほしくないのが一般的なご意見ですね。そういう水路を使われる方のご意見がある、もう一つ考えなきゃいけないのは、難しいなと思つたのは中には水路に蓋をすることによって道路が幅広くなつて抜け道になつて車がスピードを出してしまつて、かえつて危険度を増してしまうところもあるんですよ。ですので警察とさまざま協議をしながら実際の通行量はどうかとか、やっぱり安心安全が一番ですから安全安心にするためにはどうしたらいいのか、またほかのところを通つてもらふことはできないのか、さまざまな意見を統合しながら整備をしてる現状があります。今回もさまざまご意見をいただいたんですが、先ほど矢野課長から経費という話がありました。確かに皆さんからいただいている税金で我々仕事をさせていただいておりますが、今松山市役所では人のお金とは考えないようにしようと、自分のお金だつたらどうするつていう感覚を持つてもらふようにしています。私就任させていただいてから最初にコピー用紙を両面使つてくださいとあえて申し上げました。これで松山市役所色んな部署がありますから1年間で300万円のお金を生み出すことができました。でも個人情報漏れるつような両面コピーはしてはいけませんからそこは気をつけながらですけども、コスト感覚を持つてほしい、より持つてほしいつていうことで両面コピーをお願いしたところですよ。今こうやつてタウンミーティングさせていただいて皆さんからあれやつてほしい、これやつてほしい、あれやつてほしいつて言われるんですが、私も人間ですよ。皆さんから言われたことをお金があればできるつただけどなあみたいなきこともやつぱりあります。でもわかりました、これやりましょつ、あれやりましょつ、それやりましょつつて言えたほうは楽なんですけども、難しいのは行政が何かつくつてしまつた場合はつくるつときの費用とそれをずつと持つち続ける維持管理するお金も考えなきゃいけない。今は国自体

が1千兆円の借金を抱えてますから地方に回って来るお金がこれから膨らむのはとても考えにくいです。高度経済成長の時代だったら色んな物を建てられる時代だったと思いますけども、これからは働いてくれる人の数も少なくなることが予想されていますから、本当にさまざま考えて行政やっていかないといけない。将来の子どもや孫にツケを残すことではいけないと思ってさまざま考えながらやっているところです。とってお金がないから何もしないのではなくてやるべきことはやる、削るべきことは削るということで皆さんの声に耳を傾けさせていきたいということでタウンミーティング重ねております。これからも政治って言葉がありますけども誠実に取り組んで誠実に耳を傾けて誠実に取り組ませていただく、誠で治める政治をやっていきたい。そして市役所ですから市民の皆さんの役に立つ所で市役所であり続けたいと思いますので、これからもご意見寄せていただけたらと思います。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。

— 了 —